

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Jun ASADA

Serial No.: To Be Assigned

Filed: September 22, 1998

For: LOCAL AREA INFORMATION TERMINAL DEVICE

Group Art Unit: To Be Assigned

Examiner: To Be Assigned



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

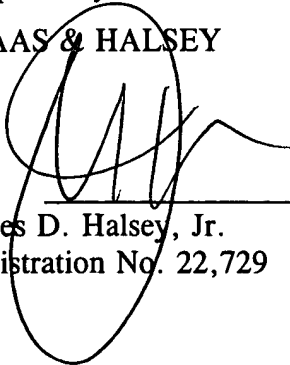
In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, Applicants submit herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 10-065938, filed March 16, 1998.

It is respectfully requested that Applicants be given the benefit of the foreign filing date, as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

Dated: September 22, 1998

700 Eleventh Street, N.W.
Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

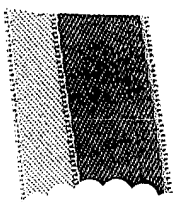
1 9 9 8 年 3 月 1 6 日

出 願 番 号
Application Number:

平成 1 0 年 特 許 願 第 0 6 5 9 3 8 号

出 願 人
Applicant (s):

富士通株式会社



CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1 9 9 8 年 5 月 1 日



特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

荒井寿光



出証番号 出証特平 1 0 - 3 0 3 4 0 8 8

【書類名】 特許願

【整理番号】 9707151

【提出日】 平成10年 3月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04H 1/00

【発明の名称】 地域型情報端末装置

【請求項の数】 9

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 浅田 潤

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089244

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 遠山 勉

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090516

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松倉 秀実

 【連絡先】 03-3669-6571

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012092

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9705606
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 地域型情報端末装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 あらかじめ作成されたファイルを格納するファイル記憶手段と、

各周波数帯域に割り当てられた放送チャンネルの中から空きチャンネルを検索するチャンネル検索手段と、

空きチャンネルが複数存在する場合に送信者に空きチャンネルを選択させるチャンネル選択手段と、

前記で選択されたチャンネルを通じて、前記ファイル記憶手段に格納されたファイルを放送データとして地域内に向けて送信する送信手段とからなる地域型情報端末。

【請求項 2】 暗号処理手段を有しており、

前記記憶手段から読み出したファイルを当該暗号処理手段で暗号化した後に送信手段から送信する請求項 1 記載の地域型情報端末。

【請求項 3】 前記ファイルは HTML 形式のファイルである請求項 1 または 2 記載の地域型情報端末。

【請求項 4】 地域内で送信された複数のチャンネルの放送データを選択的に受信する地域型情報端末であって、

放送データの受信が可能なチャンネルを検索する検索手段と、

複数のチャンネルを通じてそれぞれ異なる放送データが送信されている場合に、受信チャンネルを選択する選択手段と、

選択されたチャンネルで受信された放送データを表示する表示手段と、

前記放送データ中から送信者を特定する識別子を抽出して記憶する識別子記憶手段と、

前記識別子記憶手段から読み出した送信者の識別子に基づいて、送信者に返信メッセージを作成するためのメール編集手段と、

メール編集手段で作成されたメールを返信する返信手段とからなる地域型情報端末。

【請求項5】 前記に加えて暗号処理手段を有しており、当該暗号処理手段は、受信した放送データが暗号化されている場合にこれを解読して復号化することを特徴とする請求項4記載の地域型情報端末。

【請求項6】 あらかじめ作成されたファイルを格納するファイル記憶手段と、

各周波数帯域に割り当てられた放送チャンネルの中から空きチャンネルを検索するチャンネル検索手段と、

前記で検索されたチャンネルを通じて、前記ファイル記憶手段に格納されたファイルを放送データとして地域内に向けて送信する送信手段と、

地域内で放送データの受信が可能なチャンネルを検索する検索手段と、

複数のチャンネルを通じてそれぞれ異なる放送データが送信されている場合に、受信チャンネルを選択する選択手段と、

選択されたチャンネルで受信された放送データを表示する表示手段とからなる地域内の放送データの送信および受信が可能な地域型情報端末。

【請求項7】

受信した放送データの送信者に対して返信メールを作成するためのメール編集手段と、

当該返信メールを返信するための返信手段とを有する請求項6記載の地域内の放送データの送信および受信が可能な地域型情報端末。

【請求項8】 前記放送データ中から送信者を特定する識別子を抽出して記憶する識別子記憶手段と、

前記メール編集手段は、前記識別子記憶手段から読み出した送信者の識別子に基づいて、送信者への返信メールの返信宛先を設定する請求項7記載の地域内の放送データの送信および受信が可能な地域型情報端末。

【請求項9】

予め作成されたハイパーテキスト形式のファイルを格納するファイル記憶手段と、

前記ファイル記憶手段に格納されたファイルを放送データとして地域内に発信する手段と、

他発信者が発信したハイパーテキスト形式のファイルの放送電波を受信する手段と、

前記受信した放送データを表示する表示手段からなる地域内の放送データの送信及び受信が可能な地域型情報端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】

本発明は、無線を使用し、情報の発信および受信を行う情報処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年情報処理装置の発達により様々な形態のコミュニケーションが生まれている。不特定多数の受信者に向けた一方向コミュニケーションの形態であるテレビジョン放送、ラジオ放送、特定個人同士の双方向コミュニケーションの形態である携帯電話、PHS等、多数の例を挙げることができる。

【0003】

また、近年のインターネット網の整備に伴い、世界中のWWW(World Wide Web)情報に容易にアクセスすることが可能となった。これらに用いられている文書や画像が混在したハイパーテキスト情報は新しい情報表現手段として定着しつつある。

【0004】

しかしインターネットによるWWW情報の提供は、いながらにして全世界の情報を収集できる反面、一定地域向けに発信した情報を確実にその地域の対象ユーザーのコミュニケーションを活性化させるような技術は確立されていなかった。

【0005】

この点についてテレビジョン放送とインターネットを融合させた技術として特開平9-162818号公報が知られている。この技術ではテレビジョン放送信号中にインターネットのドメイン情報を多重化して送信する技術が示されている。

【0006】

また、本出願人による特開平5-122173号公報では、基地局から微弱電波で携帯型の端末装置に新聞等の速報性のある情報を転送する技術が示されている。さらに、ミニFM局等のローカルメディアを用いて特定の地域に存在するユーザーにのみ情報を配信する技術も知られている。

【0007】

これらの技術はインターネット技術と放送技術を融合したり、特定の地域に情報提供を行うためには有効かもしれない。

しかし、これらの従来技術は、いずれも放送局からユーザーへの一方向コミュニケーションであり、ユーザー同士が情報受信と同様な感覚で簡易に情報発信を行うことはできなかった。

【0008】

本発明はこのような点に着目してなされたものであり、簡易なインターネット技術を利用することにより一定地域に限定した双方向コミュニケーションを安価に提供するものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の第1の手段は、送信者があらかじめ作成したファイルを格納するファイル記憶手段を設け、チャンネル検索手段により各周波数帯域に割り当てられた放送チャンネルの中から空きチャンネルを検索し、チャンネル選択手段により複数の空きチャンネルから放送データを送信するチャンネルを選択させ、前記で選択されたチャンネルを通じて、前記ファイル記憶手段に格納されたファイルを放送データとして地域内に向けて送信するようにした。

【0010】

ファイルは文書データ、画像データ、音声データ等のファイルであり、通常、パーソナルコンピュータ上で作成可能なものである。

チャンネルとは、地域内で放送の各周波数毎に区切られた帯域を意味し、この発明では同一地域内で2～3のチャンネルが設定される。また、地域とはここでは、たとえば半径500m以内の特定地域を意味し、この範囲で双方向のコミュ

ニケーションを実現することにより、情報端末を所有する者同士が直接会うこともできる。

【0011】

第2の手段は、前記第1の手段に加えて、暗号処理手段を有する構成として、前記ファイル記憶手段から読み出したファイルを当該暗号処理手段で暗号化してから送信するようにした。

【0012】

放送データに暗号処理を施すことにより、地域内にいる特定の受信者向けの放送が可能となる。

第3の手段は、ファイルをHTML(Hyper Text Markup Language)形式としたものである。HTMLファイル形式は、<html>,<title>,<body>等のタグ(修飾記号)と文字情報で構成されているテキストファイルである。このテキストファイルはタグを用いることによって画像データを表示させることができる。HTML文書の場合、たとえばと表記するのみでこのタグの位置にsuna.jpgという画像を表示できる。

【0013】

第4の手段は、地域内で送信された複数のチャンネルの放送データを選択的に受信する地域型情報端末において、放送データの受信が可能なチャンネルを検索する検索手段と、複数のチャンネルを通じてそれぞれ異なる放送データが送信されている場合に、受信チャンネルを選択する選択手段と、選択されたチャンネルで受信された放送データを表示する表示手段と、前記放送データ中から送信者を特定する識別子を抽出して記憶する識別子記憶手段と、前記識別子記憶手段から読み出した送信者の識別子に基づいて、送信者に返信メッセージを作成するためのメール編集手段と、メール編集手段で作成されたメールを返信する返信手段とからなる地域型情報端末。

【0014】

この第4の手段は、送信端末である第1の手段に対応したもので、地域内のいくつかの送信端末から送信されている放送データをチャンネルを選択することにより受信するものである。また、この放送データの中から送信者の識別子、すな

わちIDを記憶させておくことで、放送者に対して返信メールを送ることができ、地域内における双方向コミュニケーションを実現できる。

【0015】

第5の手段は、暗号処理手段を有しており、受信した放送データが暗号化されている場合にこれを解読して復号化するようにした。放送データが暗号化されている場合に対応したものである。

【0016】

第6の手段は、送信者があらかじめ作成したファイルを格納するファイル記憶手段と、各周波数帯域に割り当てられた放送チャンネルの中から空きチャンネルを検索するチャンネル検索手段と、前記で検索されたチャンネルを通じて、前記ファイル記憶手段に格納されたファイルを放送データとして地域内に向けて送信する送信手段と、地域内で放送データの受信が可能なチャンネルを検索する検索手段と、複数のチャンネルを通じてそれぞれ異なる放送データが送信されている場合に、受信チャンネルを選択する選択手段と、選択されたチャンネルで受信された放送データを表示する表示手段とからなる地域内の放送データの送信および受信が可能な地域型情報端末である。これは第1の手段で説明した送信端末としての機能と第4の手段で説明した受信端末としての機能を併せ持つものであり、両機能を有していても送信用のチャンネル検索手段と、受信用のチャンネル選択手段等のハードウェア機構を共通化させることができるため、大形化することなく送受信が可能な地域型情報端末を実現できる。

【0017】

第7の手段は、前記第6の手段において、受信した放送データの送信者に対して返信メールを作成するためのメール編集手段と、返信メールを返信するための返信手段とを有するものである。単に放送データを受信するだけではなく、放送者に対して返信メールを送信する機能が付加されていることにより、地域内のコミュニケーションをより活性化させることができる。

【0018】

第8の手段は、前記放送データ中から送信者を特定する識別子を抽出して記憶する識別子記憶手段をもたせ、さらに前記メール編集手段が前記識別子記憶手段

から読み出した送信者の識別子に基づいて、送信者への返信メールの返信宛先を設定するようにした。これにより、返信メールをメールアドレスを意識することなくきわめて簡単に放送者に対して返信メールを送信することが可能となる。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づいて、本発明の実施の形態を説明する。

図1は、本発明の一実施例である情報処理装置を示している。

【0020】

情報処理装置101は、携帯可能な筐体を有しており、その表面には表示画面102、電源スイッチ103、モード選択スイッチ104およびチャンネル選択ボタン105を有している。また、その上部にはアンテナ106が設けられている。

【0021】

表示画面102は、カラー液晶ディスプレイで構成されており、その表面はタッチパネルによりタッチペン等で位置入力指示が可能になっている。モード選択スイッチ104は、スライドスイッチで構成されており、当該情報処理装置101を受信または送信モードで使用するか選択可能となっている。チャンネル選択ボタン105は、送信または受信時におけるチャンネル選択を行うためのものである。アンテナ106から、HTML形式のファイルデータを放送データとして、電波で送信する。又、アンテナ106により、他のユーザーが発信している電波を受信する。このチャンネル選択の概念については後述する。

【0022】

図2は、上記情報処理装置101の内部ハードウェア構成をブロック図で示したものである。

情報処理装置101はマイクロプロセッサ202を中心に構成されており、当該マイクロプロセッサ202の初期プログラム、通信プログラム、メールエディタ等を格納するメモリ（ROM）204、前記各プログラムおよびデータを一時的に格納するメモリ（RAM）203、ユーザーの作成したHTML（Hyper Text Markup Language）又はハイパーテキスト形式等のデータをファイル形式で格納

するファイルシステム206等を有している。ここで、ファイルシステム206はたとえばカードスロット等で構成され、このカードスロットに挿入されるフラッシュメモリで構成されたPCカード(PCMCIA準拠)を用いることができる。したがって、ユーザーは、あらかじめ他のパーソナルコンピュータを用いてHTMLデータを作成しこれをPCカードに転送しておくことにより、情報処理装置101は装着されこのPCカードからHTMLファイルを読み出して送信処理を行うことができる。

【0023】

情報処理装置101の通信系として、チューナ201を有しており、選局スイッチ105として機能するチャンネル選択ボタン105の操作により送信または受信周波数を切り換えることができる。

【0024】

チューナ201とマイクロプロセッサ202の間には暗号処理部205が設けられている。この暗号処理部205は、情報処理装置101から送信するHTMLデータを暗号化する機能を有しており、情報処理装置101が暗号化されたHTMLデータを受信するときには前記暗号化アルゴリズムの逆アルゴリズムを実行し平文に戻す機能を有している。この暗号処理部205は、具体的には特定のユーザーだけに情報を通知したい場合に機能する。

【0025】

情報処理装置101の入力系として、表示画面102はLCDで構成され、その表面に形成されたタッチパネルがポインティングデバイス208として機能する。この表示画面102に表示される画像は画像デコーダ207によって出力される。

【0026】

情報処理装置101の出力系として、図1には現れていない裏面側にスピーカ210を有しており、音声デコーダ209を通じて音声情報が再生される。

次に、図3に示すようなHTMLデータ(suna.html)を情報処理装置101を使用して送信(放送)する場合について説明する。

【0027】

図3に示すHTMLデータは、テキストデータであるsuna.htmlファイルと、画像データであるsuna.jpgファイルと、ボタン画像であるmail.gifファイルとで構成されており、このようなファイルはパーソナルコンピュータ上で生成・編集されたものである。ユーザーは上記3つのファイルを図示しないPCカードに格納した後、当該PCカードを情報処理装置101に装着する。これによりファイルシステム206内で送信すべき3つのファイルがセットアップ状態となる。

【0028】

まず、送信者はモード選択スイッチ104を操作して当該情報処理装置101を送信モードに設定する。マイクロプロセッサ202はチューナ201に指示して現在放送が行われていない空きチャンネルがあるか否かを検索させる（ステップ401）。ここで当該地域（半径500m程度）で全てのチャンネルで既に放送が行われている場合には、画像デコーダ207を介して表示画面102に「空きチャンネルがないので放送できません」という表示を行い（413）、送信処理を終了する。一方、空きチャンネルが存在し（402）、当該空きチャンネルが2以上ある場合にはマイクロプロセッサ202は画像デコーダ207を通じて表示画面102上にチャンネル選択メニューを表示し（411）、送信者に対してチャンネル選択ボタン105の操作により送信チャンネルを選択させる（412）。

【0029】

なお、フロー図では図示していないが、空きチャンネルが複数ある場合には、若番号のチャンネルから放送チャンネルを自動的に選択されるようにしてもよい。

【0030】

放送チャンネルが確定すると、マイクロプロセッサ202は放送者のIDを設定する（404）。このIDは、当該情報処理装置101のユーザー情報としてメモリRAMに格納されている送信者のインターネットアドレスを用いることができる。しかし、当該IDをこの放送限りのものとして、マイクロプロセッサ202が乱数により生成したIDを用いてもよい。

【0031】

次に、表示画面 102 にはファイルシステム 206 内のファイル一覧が表示され、送信者はこの中からチャンネル選択ボタン 105 を使って放送ファイルを選択する (405)。このとき、表示画面 102 上で放送ファイルとしてその基本となる suna.html ファイルを選択すれば、このファイルでリンク設定されている suna.jpg ファイルおよび mail.gif ファイルも同時に選択される

次に、表示画面 102 は、当該放送ファイルを暗号化するか否かの選択画面となる (406)。

【0032】

ここで暗号化処理は、特定のユーザーグループだけに放送したい情報である場合、暗号化した放送ファイルを送信することにより、当該放送ファイルの受信を許可された ID を有する受信者のみが情報内容を受信することが可能となる。このような暗号化処理により情報受信に料金徴収を行う地域を限定した商業放送も実現可能となる。

【0033】

ステップ 406 で暗号処理が選択された場合には、暗号処理部 205 は当該放送ファイル (suna.html, suna.jpg および mail.gif) を暗号化する処理を行う (407)。ここでの暗号化はたとえば、公開鍵暗号方式等を公知の暗号化アルゴリズムを用いることができる。

【0034】

次に、マイクロプロセッサ 202 は、チューナ 201 を通じて放送処理を行う (408)。

以上の処理により、図 3 に示した情報は送信者の情報処理装置 101 の周囲で受信可能となる。受信の手順については図 5 でさらに説明するが、受信者から送信者に対してメールが届いた場合には (409)、マイクロプロセッサ 202 はメモリ 204 (ROM) よりメールブラウザを起動し (410)、当該着信メールを表示画面 102 上に表示する。

【0035】

このメールブラウザは、着信したメールのメールアドレスを返信アドレスとして返信を行うことができる。この点は汎用のインターネットブラウザにより既に

公知の技術であるので説明は省略する。

【0036】

次に、図5～7を用いて、情報処理装置101が放送を受信する手順について説明する。

受信者が情報処理装置101の電源スイッチ103を投入してモード選択スイッチ104を受信モードにするとマイクロプロセッサ202はチューナ201を介して全チャンネルを検索し(501)、放送が行われているチャンネルがあるか否かを検索する。ここで、放送が行われているチャンネルがない場合にはマイクロプロセッサ202は、画像デコーダ207を通じて表示画面102に「近くに放送者がいません」または「現在この地域では放送は行われていません」等のメッセージを表示する(513)。

【0037】

このステップ502において、放送が行われているチャンネルが検出された場合には、放送を行っているチャンネル数を判定する(503)。ここで、放送が行われているチャンネルが複数ある場合には、マイクロプロセッサ202は、表示画面102上に図7に示すようなチャンネル選択メニューを表示する(511)。

【0038】

ここで、放送を行っているチャンネルがある複数ある場合とは、図6に示すように、情報処理装置101を使って放送データを送信している2名の発信者611, 612がいるような場合を意味する。

【0039】

チャンネル選択メニューでは、「チャンネル1とチャンネル2で無線web情報を受信しました。表示するチャンネルを選んで下さい」という文字メッセージとともに、「チャンネル1」と「チャンネル2」のボタン画像が表示される。この表示状態でチャンネル選択ボタン105を左右方向に押すことにより、チャンネル1またはチャンネル2を選択できるようになっている(512)。なお、表示画面102上のボタン画像上をタッチペンなどでタッチすることによりチャンネルを選択するようにしてもよい。

【0040】

チャンネルが確定した場合、当該放送情報の中から放送者のIDを取得し、メモリRAM203に当該IDをセットする(504)。

次に、当該放送データが暗号化されているか否かを判定し(505)、暗号化処理されている場合には暗号処理部205において暗号解読処理、すなわち復号化が行われる(506)。

【0041】

次に、マイクロプロセッサ202の制御によりメモリ(RAM203またはROM204)に格納されたHTMLブラウザが起動され、画像デコーダ207を通じて表示画面102上に図3で示された放送者が作成したHTML文書が表示される(507)。

【0042】

このとき、受信者が放送者に対してメールを送信したい場合には(508)、表示画面102上のmail.gifのボタン画像をタッチペン等でタッチする。この受信者の操作により、メモリ(RAM203またはROM204)に格納されたメールエディタが起動する(509)。受信者はこのメールエディタで返信メールを作成することができる。このとき、メモリRAM203に格納された放送者のIDが返信メールの宛先として読み出されメールのヘッダに書き込まれる。

【0043】

そして、メールエディタによるメールの編集が完了すると、マイクロプロセッサ202はチューナ201およびアンテナ106を通じて放送者の情報処理装置101に対してメールの送信を行う。

【0044】

【発明の効果】

本発明によれば、特定地域内に特化した双方向コミュニケーションが実現される。特に当該地域内に存在する受信者に対してのみ特定の情報を放送データとして提供でき、それを受信した受信者も放送者に対して返信メールにより応答できるため、人間同士が直接対面する直前段階での双方向コミュニケーションを実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例である情報処理装置を示す平面図

【図 2】 実施例の情報処理装置の内部構成を示すブロック図

【図 3】 実施例の放送データの内容を示す説明図

【図 4】 実施例の情報処理装置における放送データ送信時の手順を示すフロー図

【図 5】 実施例の情報処理装置における放送データ受信時の手順を示すフロー図

【図 6】 実施例において、同一地域内に 2 人の放送データ送信者がいる場合の概念図

【図 7】 実施例において、同一地域内の 2 つのチャンネルでの放送データが受信可能な場合の表示画面上での選択メニューを示す図

【符号の説明】

101 情報処理装置

102 表示画面

103 電源スイッチ

104 モード選択スイッチ

105 チャンネル選択ボタン

106 アンテナ

201 チューナ

202 マイクロプロセッサ

203 メモリ (RAM)

204 メモリ (ROM)

205 暗号処理部

206 ファイルシステム

207 画像デコーダ

208 ポインティングデバイス (タッチパネル)

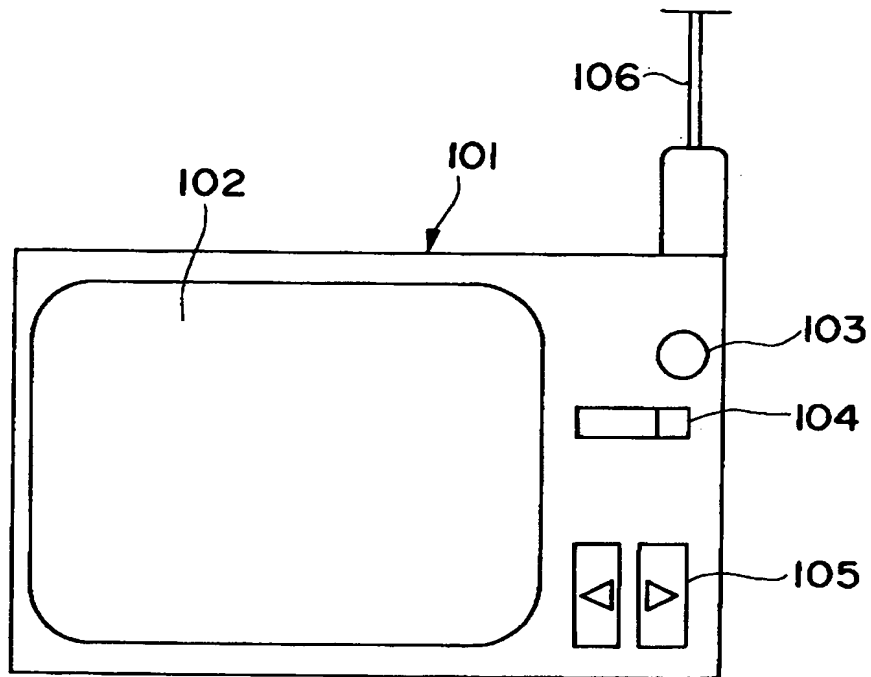
209 音声デコーダ

210 スピーカ

【書類名】 図面

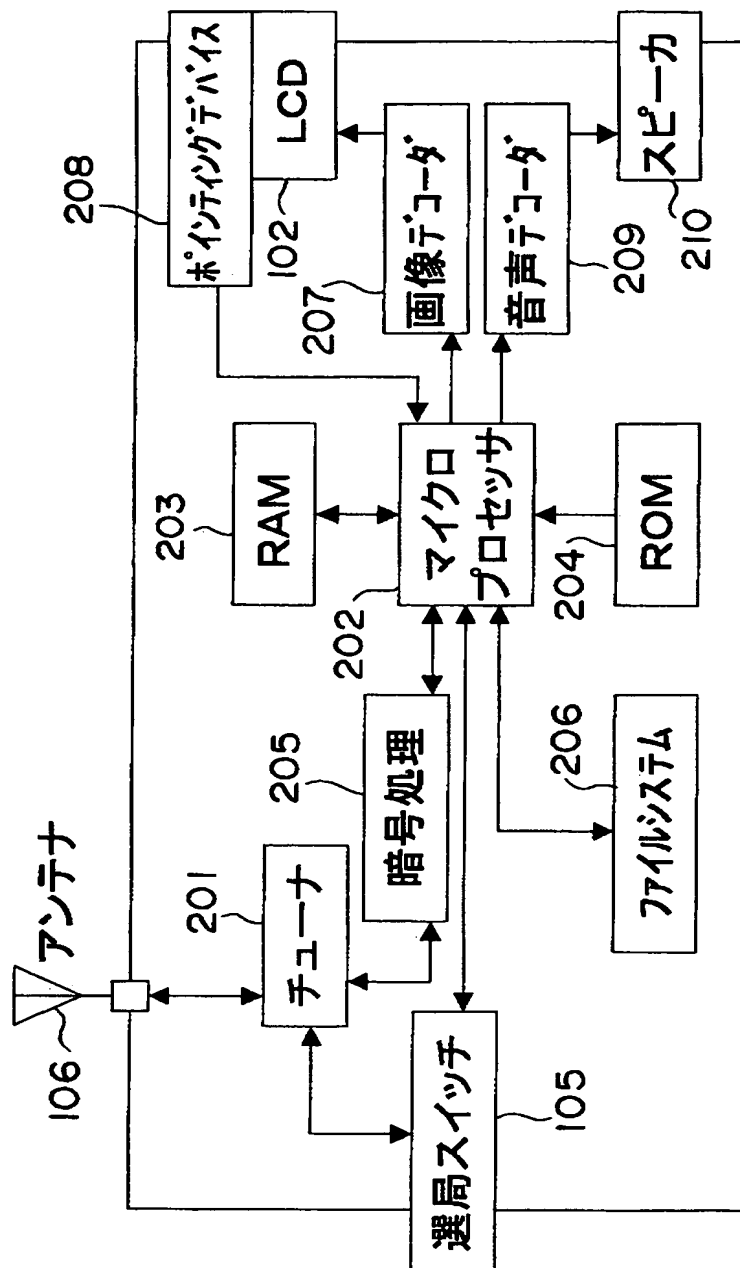
【図 1】

本発明の一実施例である情報処理装置を示す平面図

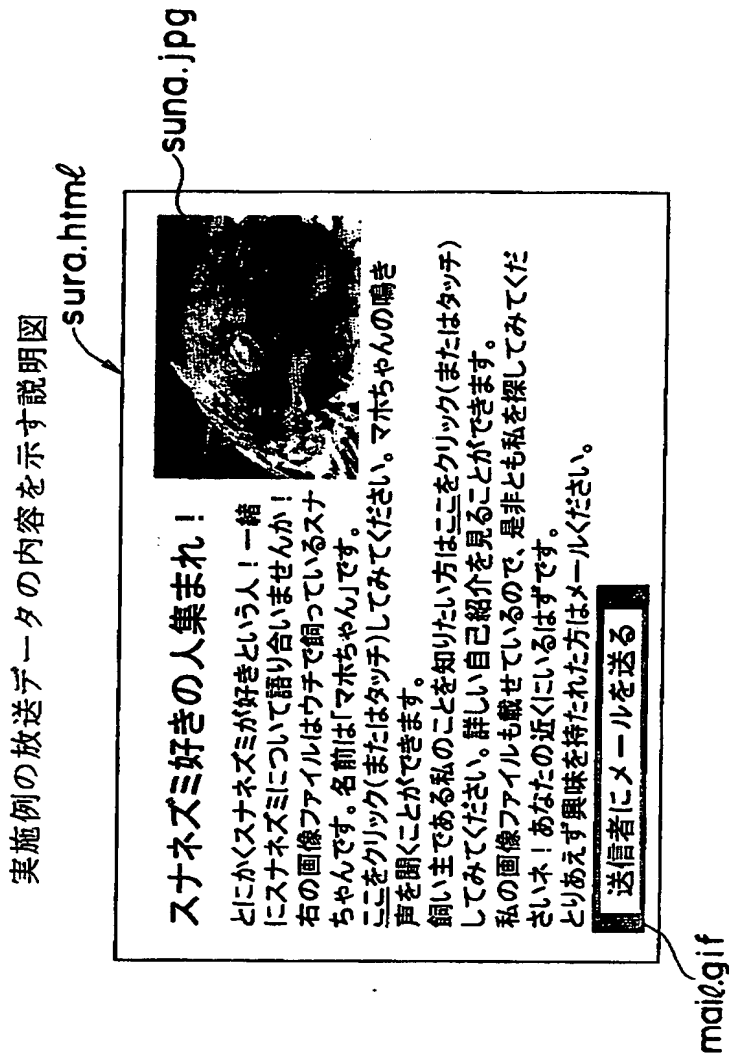


【図 2】

実施例の情報処理装置の内部構成を示すブロック図

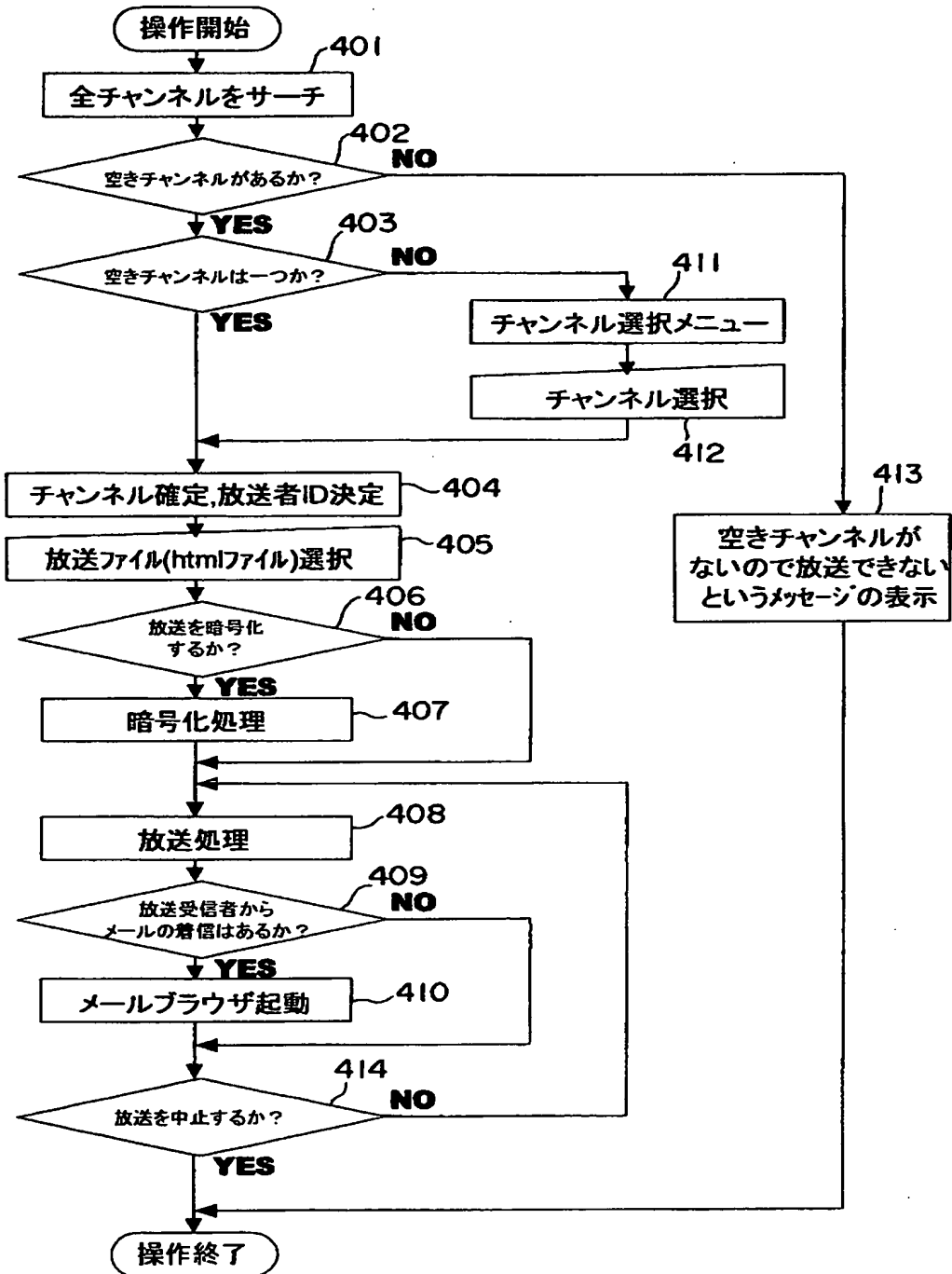


【図 3】



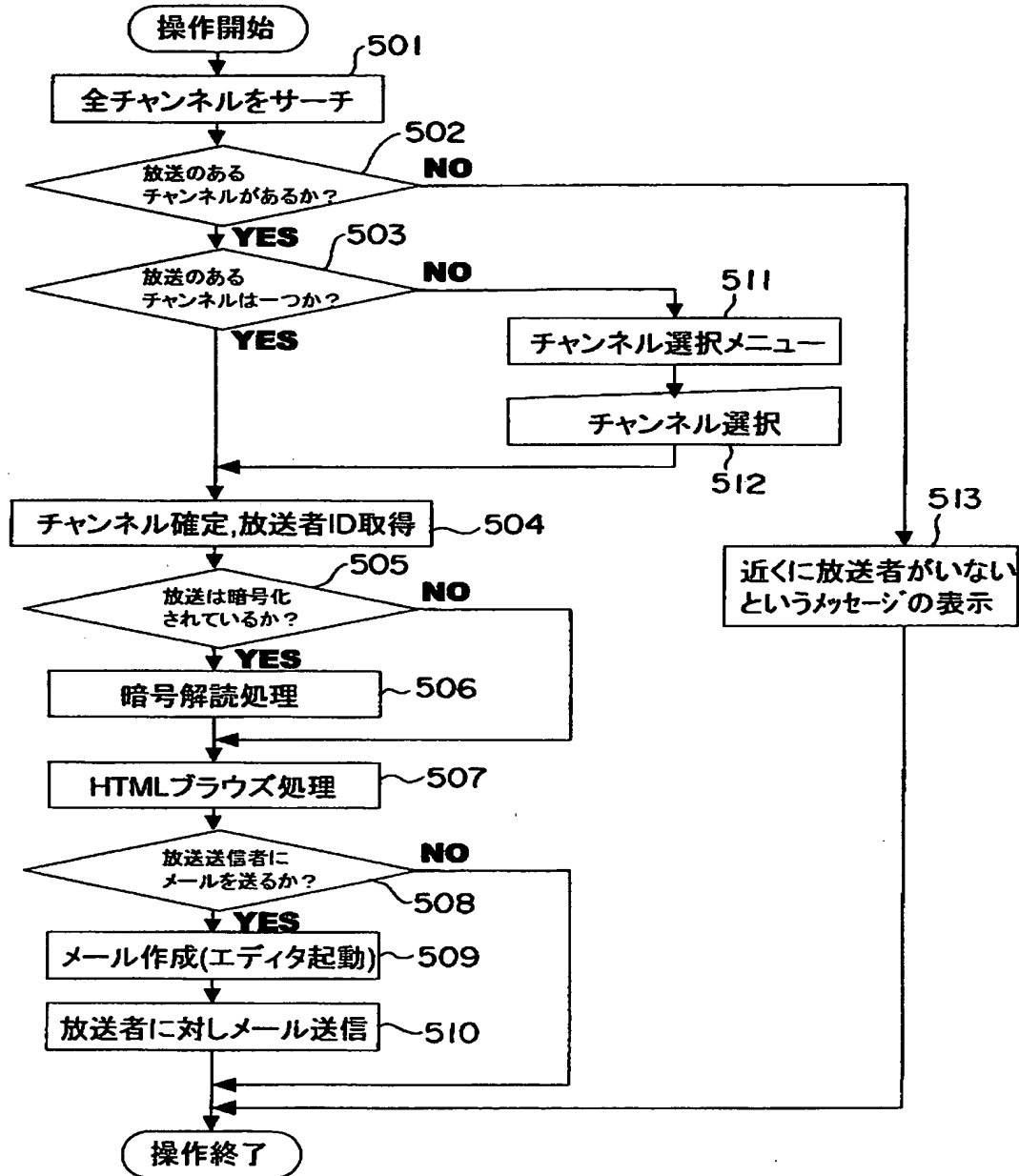
【図 4】

実施例の情報処理装置における放送データ送信時の手順を示すフロー図



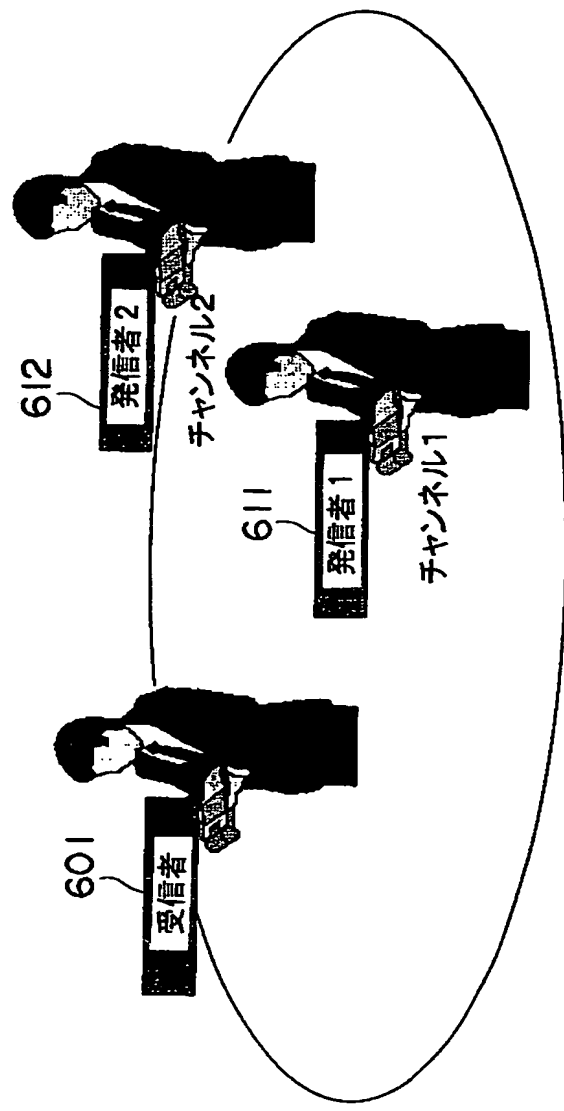
【図5】

実施例の情報処理装置における放送データ受信時の手順を示すフロー図



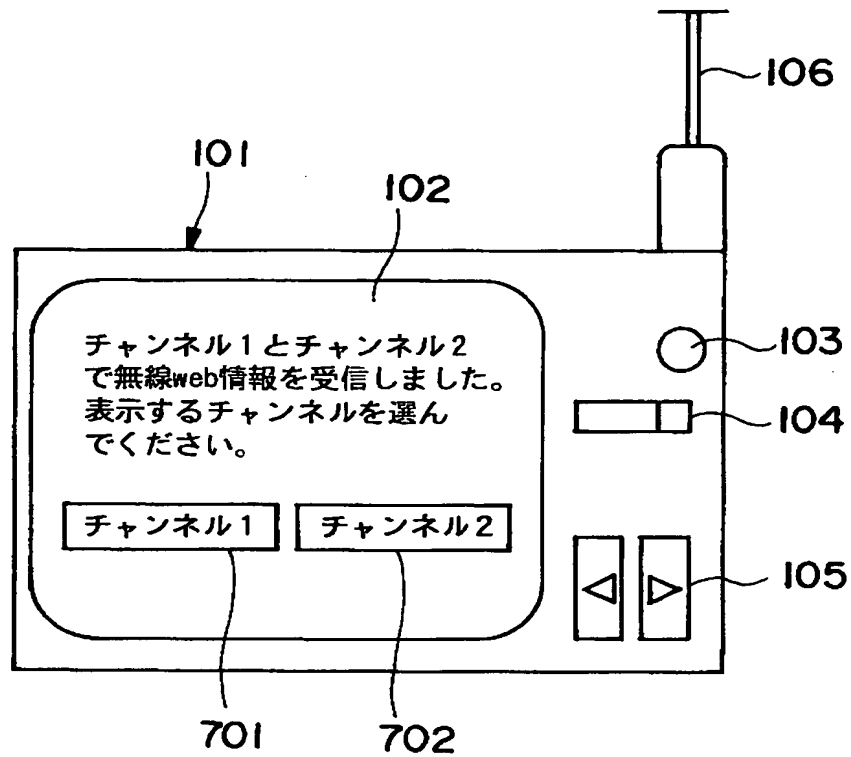
【図 6】

実施例において、同一地域内に 2 人の放送データ送信者がいる場合の概念図



【図7】

実施例において、同一地域内の2つのチャンネルでの放送データが受信可能な場合の表示画面上での選択メニューを示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 地域に特定した簡易な双方向コミュニケーションを実現する

【解決手段】 HTMLデータ等を送受信可能なモバイル端末を用意し、当該モバイル端末間の通信を確保するためにいくつかの放送チャンネルを用意する。そして、放送チャンネルを通じて受信した放送データに対して受信者側からも返信メールを送信できるようにし、人間同士が直接対面する直前段階での双方向コミュニケーションを実現できるようにした。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】
【識別番号】 000005223
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
【氏名又は名称】 富士通株式会社
【代理人】 申請人
【識別番号】 100089244
【住所又は居所】 東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマ
ビル6階 秀英国際特許事務所
【氏名又は名称】 遠山 勉
【選任した代理人】
【識別番号】 100090516
【住所又は居所】 東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマ
ビル6階 秀英国際特許事務所
【氏名又は名称】 松倉 秀実

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社